

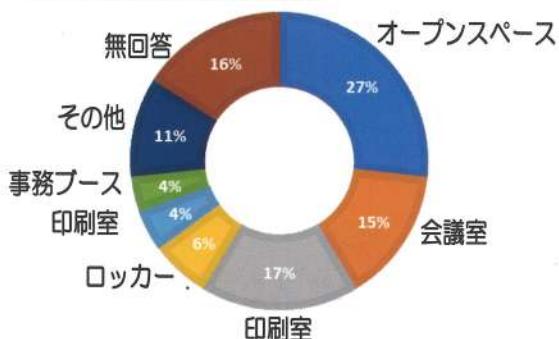


# 静岡市清水市民活動センター 令和4年度利用登録団体アンケート報告

清水市民活動センターを利用する団体のニーズを把握し新たな年度の事業に反映させるため、令和5年1月1日から31日の期間、利用登録団体を対象にアンケート調査をおこないました。その結果を報告します。

〈回収状況〉 対象団体数：270団体 回答：88団体 回収率：32.6%

## ■「場」として利用



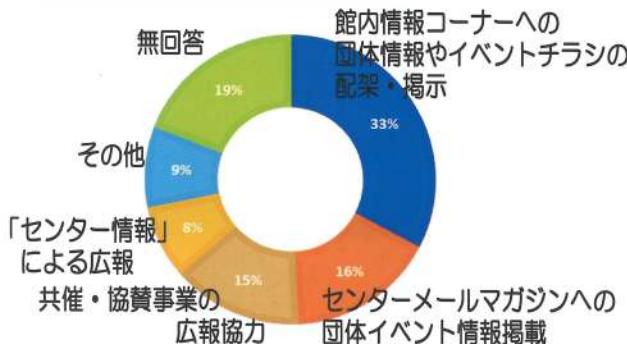
施設利用の制限、団体自体の活動自粛が徐々に緩和されてきました。

センターを利用される方も増加傾向にあり、場としての活用のほか情報収集や自団体の広報に活用されています。

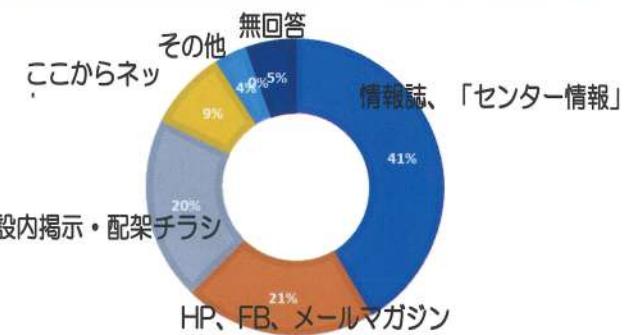
また、団体設立、ミッションの達成を目指して健全に活動を続けていくための運営相談も市民活動センターの重要な役割です。

書類作成や経理など実務的な相談に訪れる団体も増えています。団体の実情に合わせたきめ細かな対応を心がけています。

## ■広報、情報発信に利用



## ■市民活動、イベント、助成金等の情報の入手



## ■相談



団体設立、運営の相談対応も大きな役割。  
年度末から始めは経理、書類作成の相談が増えます。

## ■団体交流や情報交換



講座やイベントを通じて他の団体と知り合い、ネットワークが広がった、という声も…

## ICT(情報通信)技術

### ■団体としてのオンラインツール利用



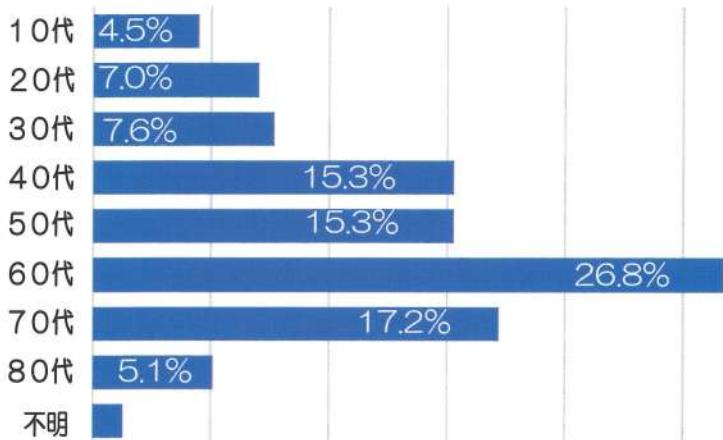
### ■主な用途



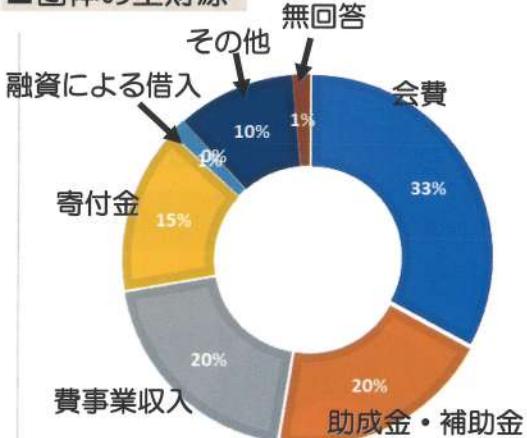
感染症の拡大に伴い急速にオンラインツールを利用する団体が増え、さらに台風15号が襲来した際には安否確認や情報収集、共有に多くの団体がSNSを活用しました。今後も普及や活用は進むことが予想されますが、一方で利用の際のリスクへの対応、オンラインツールを利用していない会員への情報伝達などの課題も見えてきました。

## 団体の現状

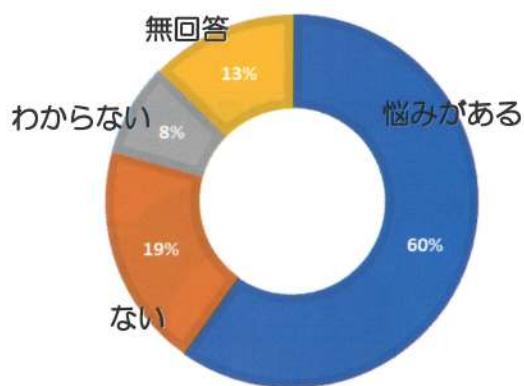
### ■活動の中心となっている会員の年代



### ■団体の主財源



### ■抱えている課題や悩み



### ■一番の課題・悩み

会員獲得	13.2%	人材に関する課題は多くの団体が抱えています。そのほか、広報、コミュニケーション、成果が確認できない、会員の自発的な活動の減少、などいろいろな回答があり、「その他」としてまとめました。
組織基盤	11.8%	
運営員不足員	10.5%	
会員減少	9.2%	
世代交代	9.2%	
資金不足	9.2%	
高齢化	6.6%	
その他	30.7%	

## 市民活動センターへの要望

### ■主催事業開催希望



市民活動センターの講座や交流連携事業は、毎年おこなっているこのアンケートをもとに、

1. 団体の実務に関すること
2. 活動の力になる事業
3. ネットワークを広げ協働のきっかけをつくる事業を企画しています。

令和5年度の事業予定概要は、清水市民活動センター情報誌パートナー120号1ページをご覧ください。

アンケートにご協力いただいた団体のみなさま、ありがとうございました。



※写真は令和4年度におこなった事業のものです。